

かわかみじんじゃ
河上神社

所在地：洲本市 五色町鮎原南谷



河上神社本殿と天然記念物イブキ

河上神社は、由緒ある延喜式内社で、祭神の河上大神は恵みをもたらす万物育成の神で、水を司る神でもあります。相殿の天満宮は、901年、菅原道真が筑紫に向かう途中に播磨灘で強風に遭い、河上神社にお参りしたのを由緒としており、「鮎原の天神さん」として地元で親しまれています。

毎年4月29日に行われる春祭りでは、10台の布団だんじりとだんじり唄が見どころで、多くの人が訪れます。

また、境内には県指定文化財・天然記念物の古びたイブキの巨木があり、社殿と一体となった素晴らしい景観をつくりだしています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICから県道66号線を南下。車で約30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図